

適応外使用医薬品の情報公開文書

実施内容	不眠症に対する向精神薬等の適応外使用
適応外使用する医薬品の成分(代表的な医薬品名)	トラゾドン(デジレル、レスリン)、ヒドロキシジン(アタラックス-P)、ハロペリドール(セレネース)、ミルタザピン(リフレックス)
本治療の対象者	不眠と診断された患者、または不眠を発症する可能性が高い患者
承認日	2025年11月1日
対象期間	承認日以降永続的に使用(必要に応じて見直しを行う)
概要	<p>入院に伴う環境の変化により、「寝つきが悪い」「途中で目が覚める」などの不眠症状を呈することがあります。</p> <p>不眠が続くと、十分な休息が得られず日中の眠気やせん妄の併用を招くことがあります。入院生活に支障をきたす場合があります。</p> <p>不眠の治療には複数の薬剤が用いられます。一部は不眠症治療を目的として承認されていません(=適応外使用)。しかし、これらはガイドラインや学術論文で効果が認められています。</p> <p>当院では、患者さんの状態に応じてこれらの薬剤を適切に使用し、不眠の改善を図ります。</p>
予想される副作用と対策	<p>ふらつき、日中の傾眠、不整脈、悪性症候群(高熱・強い筋肉のこわばり・意識障害など)など。</p> <p>患者さんの状態を慎重に観察し、副作用が見られた場合は速やかに適切な処置を行います。</p>
問い合わせ先	<p>聖母病院(代表)TEL:03-3951-1111</p> <p>担当医師へお取次ぎします。</p>